

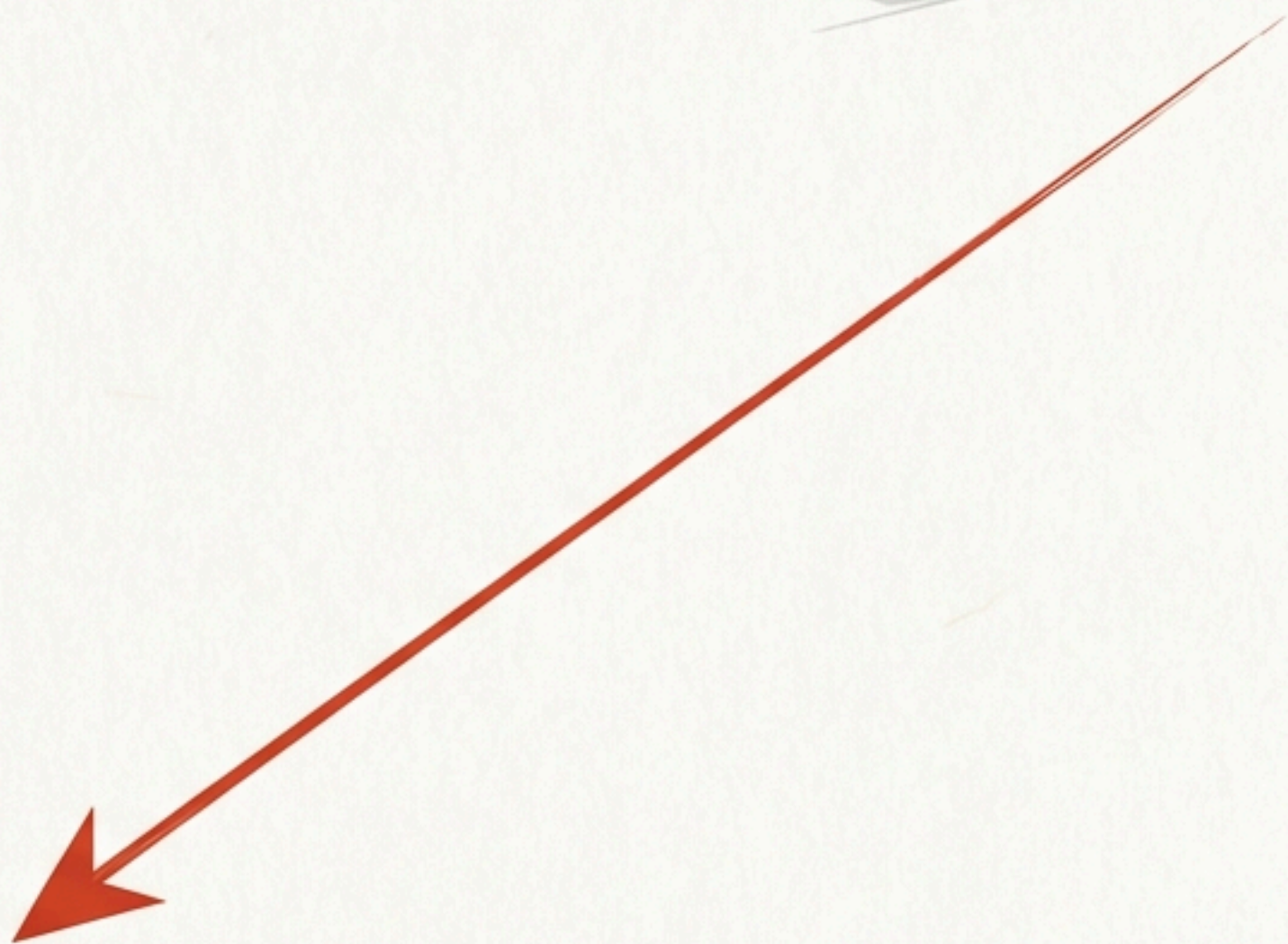
稽古照今という生き方

過去を学び、今を照らす

TAOISM – A Way of Life



成功したい。
成長したい。
稼ぎたい。



足元を見失っている。



多くの人は未来ばかりを見る。なぜなら、過去を軽視しているからだ。

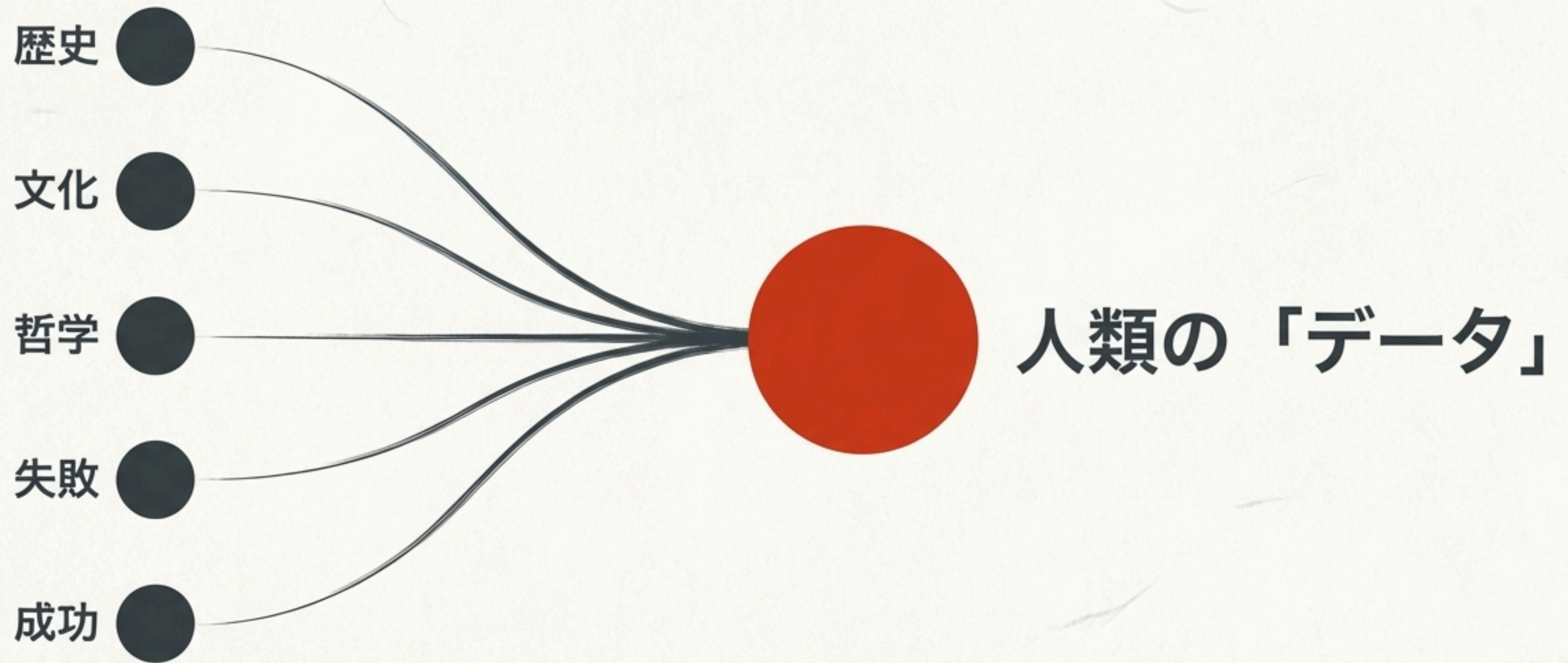
「稽古照今」

(けいこしょうこん)

過去を学び、現在に活かす。

単なる教養ではなく、
極めて本質的な「生き方」。

古を稽え、
今を照らす。



過去にはすでに膨大な知恵がある。
学ばずに新しいことだけを追うのは「非効率」である。

過去に対する3つの姿勢

未来偏重

新しいことだけを
追い求める。

非効率。
足元を見失う。

稽古照今 / 温故知新

過去をヒントに、
今に最適化する。

古きを知り、
新しきを創る。

過去固執

伝統に固執し、古い
成功体験に依存する。

変化を拒み、
時代に取り残される。

応用の構造



過去をそのまま再現するのではない。今に最適化する流れが「理屈」である。

すべては繋がっている



投資

過去の金融危機やバブルから学び、現在の市場を冷静に見る。



ビジネス

過去の成功や失敗を知ること、同じ過ちを避ける。



人間関係

歴史や哲学を学ぶことで、人の本質を理解しやすくなる。

実践：外と内の両輪

外への実践

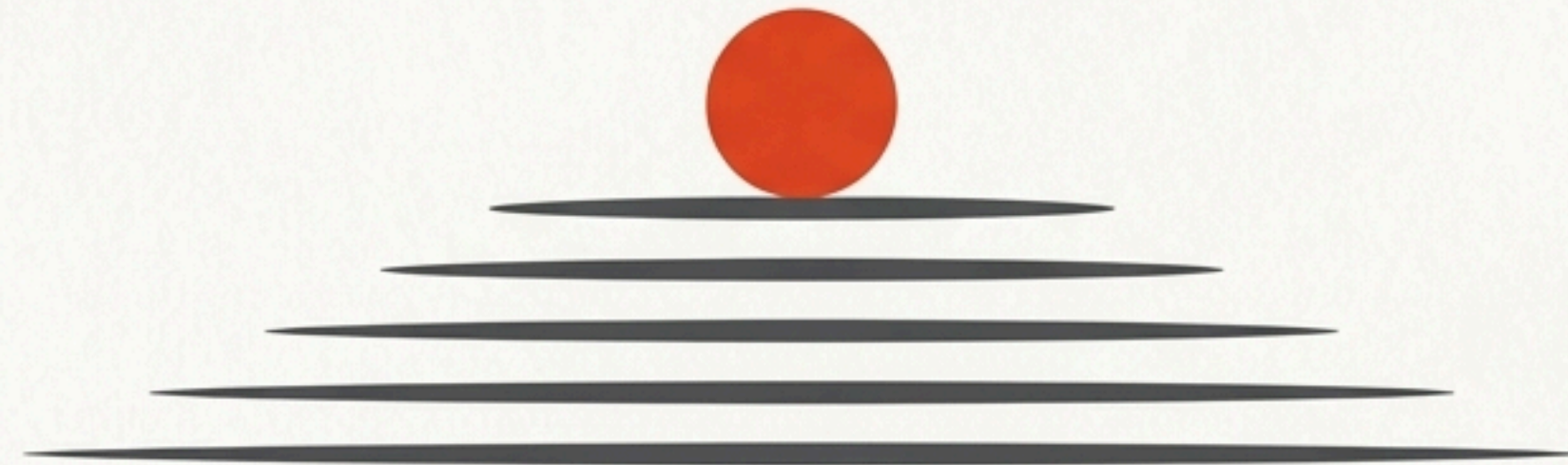
- 歴史を学ぶ
- 先人の知恵に触れる
- 事例を蓄積する

内への実践

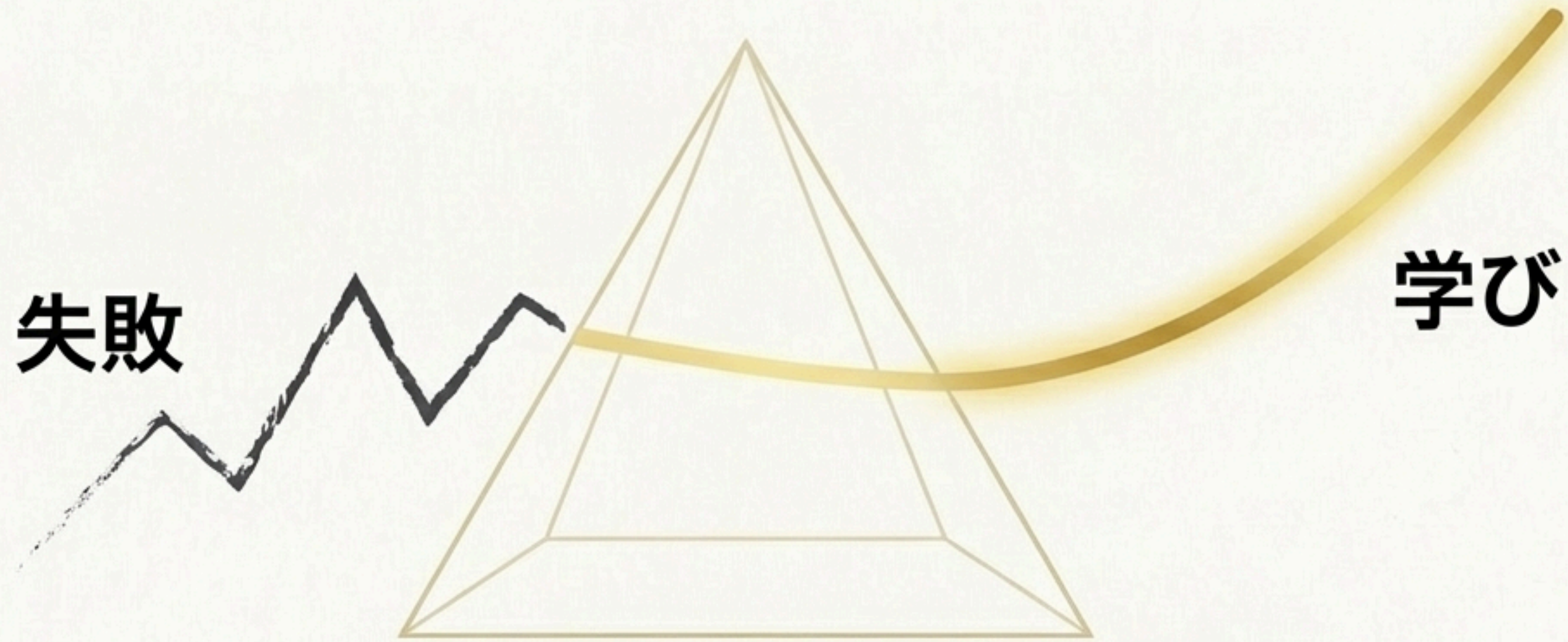
- 自分の過去を振り返る
- 選択の理由を考える
- 失敗と成功を言語化する

自分という存在もまた、過去の積み重ねである。

TAOISMではこれを「自分の歴史」と呼ぶ。ここを見ずに未来を語ることはできない。



気づきと解釈



過去は変えられない。しかし、**意味**は変えられる。

同じ過去でも、**ただのミス**と捉えるか、**学び**と捉えるかで結果は変わる。

問いかけ

- 自分は過去を活かしているだろうか？
ただの思い出として消費していないか？
- 同じパターンを繰り返していないだろうか？
- 過去と向き合うことを避けていないだろうか？

過去を活かすとは、まず己の解釈を問うことである。



Taoismは「整える」思想

過去を整える

現在を整える

未来を整える



未来だけを見て走るのではない。過去を学びながら進むこと。
それが最も安定し、最も強い成長の形である。

道を歩むための4つの柱

1

本質を
見抜く

2

理屈を
理解する

3

徳を磨く

4

共同体と
共に歩む

あなたは過去から
何を学んでいるか。
そしてその学びを、
今に活かせているか。

その問いに向き合うことが、道を歩む第一歩となる。

